

経済統計学会
第48回（2004年度）
全国研究総会プログラム

期間：2004年9月11日（土）～9月12日（日）

会場：熊本学園大学キャンパス 12号館 2階 1221教室 同3階 1233教室

日程：

- | | | |
|---------|----------|-------------|
| 1. 研究総会 | 9月11日（土） | 9：20－17：20 |
| | 9月12日（日） | 9：00－17：15 |
| 2. 総会 | 9月11日（土） | 13：00－13：50 |
| 3. 懇親会 | 9月11日（土） | 17：30－19：30 |

経済統計学会九州支部

経済統計学会第48回全国研究総会プログラム委員会

熊本学園大学経済学部永井研究室内
〒862-8680 熊本市大江2-5-1
電話：096-364-5161（代表）

9月11日(1日目)

8:30 受付開始

9:20~10:50 並行セッション(統計におけるジェンダー主流化第1部、自由論題)

セッションA11(1221番教室): 共通論題「統計におけるジェンダー主流化 第1部」

コーディネータ: 杉橋 やよい(お茶の水女子大学)

座長: 松丸 和夫(中央大学)

解題・杉橋 やよい(お茶の水女子大学)

- 1 齊藤 ゆか(聖徳大学・非常勤)・・・ボランティア活動に関する統計—ジェンダー視点から—
 - 2 宮坂 順子(昭和女子大学・院)・・・多重債務者問題関連統計の現状とジェンダー明示的統計の必要性
 - 3 橋本 美由紀(法政大学・院)・・・無償労働の評価方法—アウトプット法の紹介と検討を中心に—
- <予定討論者>居城 舜子(常葉学園大学)

セッションB11(1233番教室): 自由論題<1>

座長: 御園 謙吉(阪南大学)

- 1 安井 浩子*(統計情報研究開発センター)・井出 満(大阪産業大学)・・・
中国の0歳児の性比について (*は報告者)
- 2 芝村 良(日本大学)・・・20世紀前半期英国社会における推測統計学の普及活動について
- 3 古谷 次郎(北星学園大学)・・・アメリカにおける情報教育の「基準」について
—後期中等教育を中心として—

10:50~11:00 休憩

11:00~12:00 並行セッション

(統計におけるジェンダー主流化第2部、自由論題)

セッションA12(1221番教室): 共通論題「統計におけるジェンダー主流化 第2部」

コーディネータ: 杉橋 やよい(お茶の水女子大学)

座長: 松丸 和夫(中央大学)

- 1 秦 小傑(法政大学・院)・・・ジェンダー視点から見た中国の失業統計
 - 2 孔 麗(北海学園北見大学)・・・中国における女性就業者の年齢階層別構成比の 変化とその要因
— 製造業を中心に —
- <予定討論者>芳賀 寛(中央大学)

セッションB12(1233番教室): 自由論題<2>

座長: 光藤 昇(松山大学)

- 1 吉田 央(東京農工大学)・・・環境分野における計画と統計
- 2 桂 昭政(桃山学院大学)・・・格差時代の国民経済計算—マクロデータとマイクロデータの統合—

13:00~13:50 会員総会 (1221番教室)

14:00~15:00

特別講演 (1221番教室)

原田 正純教授 (熊本学園大学) ・ ・ 「なぜ今、水俣学か」

司会 永井 博 (熊本学園大学)

15:00~17:20

特別研究報告セッション (1221番教室)

統計学の現代的課題—創立50年を経た今、社会統計学の原点を考える—

座長：菊地 進 (立教大学)

15:00~15:05 菊地 進 ・ ・ セッション設置の趣旨

15:05~15:45 坂田 幸繁 (中央大学) ・ ・ 統計利用の現状と課題—記念号刊行に向けて—

15:45~16:05 質疑

16:05~16:15 休憩

16:15~16:55 泉 弘志* (大阪経済大学) ・ 藤川 清史 (甲南大学)

・ ・ 経済統計研究におけるマルクス派と新古典派の協力と相互批判

—中国の産業別生産性上昇率の計測を例に— (* は報告者)

16:55~17:15 質疑

17:15~17:20 菊地 進 ・ ・ 座長あいさつ

17:30~19:30 懇親会 (12号館1階)

9月12日(2日目)

9:00~10:30 並行セッション

(労働・生活・健康と社会統計、自由論題)

セッションA21(1221番教室): 共通論題「労働・生活・健康と社会統計 第1部」

コーディネータ: 岩井 浩(関西大学)・横本 宏(明海大学)

座長: 山田 満(高崎商科大学短大部)

- 1 三輪 眞知子(滋賀医科大学)・・・社会・経済的環境と母子保健・育児調査
- 2 加藤 節子(横浜市)・・・横浜市金沢区における母子保健・0歳児育児調査と支援活動
- 3 唯是 康彦* (日本経営労務協会)・三浦 洋子(千葉経済大学)
・・・食料消費関係資料間の整合性—食品ロスの推計を中心として(*は報告者)

セッションB21(1233番教室): 自由論題<3>

座長: 上藤 一郎(鈴鹿国際大学)

- 1 橋本 貴彦(立命館大学・院)・・・医療部門及び医薬品部門における投下労働量・労働生産性・労働交換率の測定—1980年代以降の日本の医療政策の特徴—
- 2 田浦 元(立教大学)・・・割引航空運賃の設定とモーダル間競争の影響
- 3 藤山 英樹* (獨協大学)・・・大浦 宏邦(帝京大学)・協力行動に影響を与える要因としての全員一致の協力—所属集団を変更できる社会的ジレンマ実験—(*は報告者)

10:30~10:40 休憩

10:40~12:10 並行セッション

(労働・生活・健康と社会統計、中国経済統計分析の最前線)

セッションA22(1221番教室): 共通論題「労働・生活・健康と社会統計 第2部」

コーディネータ: 岩井 浩(関西大学)・横本 宏(明海大学)

座長: 近 昭夫(西南女学院大学)

- 4 水野谷 武志(北海学園大学)・・・日・加・独におけるフルタイム共働き夫妻の生活時間比較—カナダおよびドイツ統計局のマイクロ統計データを利用して—
- 5 村上 雅俊* (関西大学・院)・岩井 浩* (関西大学)
・・・就業構造, 失業・不安定就業指標の日英比較
—イギリスのマイクロセンサス, LFS マイクロデータを利用して—

<予定討論者>金子 治平(神戸大学)

(*は報告者)

セッションB22 (1233番教室) : 共通論題「中国経済統計分析の最前線」

コーディネーター： 矢野 剛 (徳島大学)

座長： 大西 広 (京都大学)

- 1 張 南 (広島修道大学) ・ ・ 中国の資金循環モデルによる財政・金融政策の考察
— 1990年代の資金循環 (実物取引) を中心とする計量分析の試み—
 - 2 ショホラット・マヘムト* (京都大学・院) ・ 木下 英雄 (立命館大学・非常勤)
・ ・ 新疆ウイグル自治区を編入した中国9地域間産業連関表の作成 (* は報告者)
 - 3 木下 英雄 (立命館大学・非常勤) ・ ・ 中国における外資の役割に関する産業連関分析
- <予定討論者> 土居 英二 (静岡大学) 伊藤 国彦 (兵庫県立大学) 矢野 剛 (徳島大学)

13:00~16:50

共通論題『人口センサス統計とセンサスデータの利用形態としてのマイクロデータ』(1221番教室)

General Session “Population Census and Micro-based Use of Census Results”

Organizer : Keiro HAMASUNA (Faculty of Economics, Kyushu University)

Chairpersons : Hiromi MORI (Faculty of Economics, Hosei University)

Jihe KANEKO (Faculty of Agriculture, Kobe University)

- 13:00~13:10 Introduction Jihei KANEKO
- 13:10~14:00 The Concept and Method of American 2010 Population Census
..... Frank A.VITRANO (Assistant Chief, DECENNIAL MANAGEMENT DIVISION,
U.S. Census Bureau)
Comment Yoichi ITO (Faculty of Economics, Hosei University)
- 14:00~14:50 The Concept and Method of Next German Population Census based on
Administrative Register
..... Johann SZENZENSTEIN (Head of Population Census Division,
German Federal Statistical Office)
Comment Jun-ichi OKABE (Faculty of Humanities and Social Sciences,
Iwate University)
- 14:50~15:10 Break
- 15:10~16:00 Analysis of Labour Market with Census Micro Data
..... Jo WATHAN (Researcher, Centre for Census and Survey Research,
Manchester University)
Comment Yayoi SUGHASHI (Institute for Gender Studies,
Ochanomizu University)
- 16:00~16:50 Analysis of Education Problem with Census Micro Data
..... Heike WIRTH (Chief-Researcher, Micro Data Section,
Center for Survey Research Methodology (ZUMA))
Comment Shinsuke ITO (Kyushu University Graduate School)
- 17:00 閉会あいさつ 近昭夫会員 (西南女学院大学)

(所属欄の「院」は大学院生を, 「非常勤」は非常勤講師を示す)

お知らせとお願い

1. 全国総会（研究会・懇親会）への出欠については、同封のはがきで8月16日（月曜）[必着]までにご返事願います。また、全国運営委員は、全国運営委員会への出欠についても同様に、ご返事願います。
2. 全国総会の参加費は3000円（予稿集代を含む。院生会員は1500円、非会員3000円）です。熊本学園大学から多大な補助金をいただいたため、参加費は安くなっています。懇親会費（5000円）は別途いただきます（院生会員の懇親会費は3000円です）。
3. 昼食は、会場の近隣に食堂などが多数ありますので、ご利用ください。
4. 報告者の方は、電子メール・郵送による指示に従って、予稿集原稿の送付・会場配布資料などの準備をお願いいたします。なお、両会場ともプロジェクターによるプレゼンテーション（詳細は別途連絡）が可能です。
5. 予稿集（報告要旨集）の内容のうち公開を了解されたものは、8月下旬から経済統計学会のインターネットサイトに順次掲載する予定です。経済統計学会サイトのURLは次の通りです。 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/ses/index.html>
6. 全国運営委員会を次の要領で開催いたします。
9月10日（金）午後3時から 熊本学園大学 本館4階第1会議室
7. 会場へのアクセス（熊本学園大学サイト参照 <http://www.kumagaku.ac.jp/annai/gaiyou-f.html>）
 - JR 熊本駅より
自動車利用：約15分
市営バス利用：
 - (1) 第一環状線（大学病院回り） バス停「大江渡鹿（おおえとろく）」下車5分
 - (2) 中央環状線（大学病院回り） バス停「学園大前」下車
 - 交通センターより
自動車利用：約15分
市営バス利用：子飼画図線（こかいえずせん）・子飼長嶺線（こかいながみねせん）
産交バス利用：託麻原通り経由 バス停「大江渡鹿」下車
 - 熊本市電 電停「味噌天神（みそてんじん）」より徒歩約15分
 - JP 豊肥本線 水前寺駅（すいぜんじえき）より徒歩約10分
 - 九州自動車道 熊本インターより 自動車利用：約15分
 - 熊本空港より 自動車利用：約40分
8. 宿泊 ホテルのリストを同封しています。各自予約してください。
9. 控室 12号館2階 1222教室
10. 各種委員会・研究部会の会合予定は別途連絡します。

1.1 プログラム委員名簿

北海道支部・・・木村和範

東北支部・・・深川通寛

関東支部・・・山田 茂、芝村 良

関西支部・・・御園謙吉

九州支部・・・濱砂敬郎 (委員長)、永井 博、中敷領孝能